

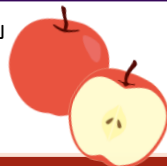


あゆみだより

令和7年度第15号
令和7年9月29日発行
沼津市立沼津高等学校・中部

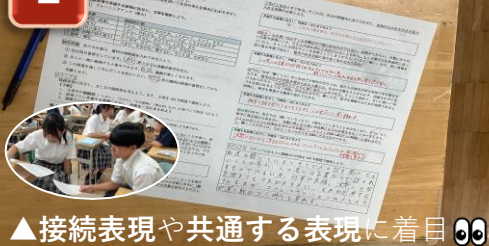


朝晩はかなり過ごしやすくなりました。今頃になって蚊が飛び回っていて、酷暑で「常識」が変わっていくことを実感させられます。今回は、過日教育関係者向けに公開した「教科等横断的な学び」の様子を紹介します。ある教科の学びを他の教科の学びと関連付けることで、生徒の学びが深まったり、それぞれの学びが活用できることを実感できたりします。



論理国語×地理総合（クロスカリキュラム／高校2年）

1 文章を100字で要約しよう



▲接続表現や共通する表現に着目

▼ここに数学も登場！！伝えたい内容を抽象化する（共通項をくくる）ってこういうことか！！

数学の問題を思い出してみよう

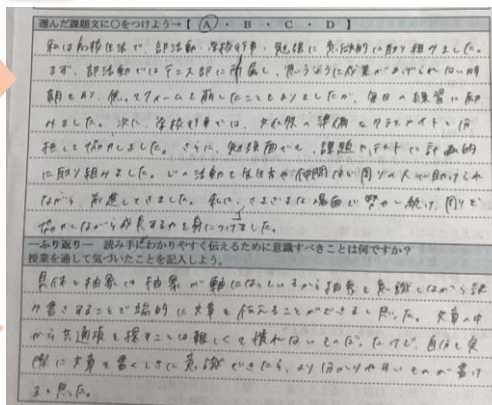
この式をどうまとめますか？

$$y = ax + ay + az$$

$$= a(x + y + z)$$

抽象

2 学んだことを活かして課題文を分かりやすく書き換えよう



▲主張・抽象（幹）と具体（枝・葉）の関係を整理して、課題文（3つから1つ選択）を推敲しました。Tさんは、軸である抽象を意識することで端的に伝えやすくなることに気付き、文章の中から共通項を探すことを意識していこう、と振り返りに記述しています。では、この学びを地理総合に生かしましょう



論理国語

地理総合

3 温帯の気候と植生は人々の生活にどのように関わっているのだろうか？「わかりやすく」表現することを心掛け、整理して表現しよう。

- 【予習】 ケッペンの気候区分「温帯」を確認
【GW①】 論理国語で学んだことを共有
【GW②】 温帯の地域の特徴について確認
【GW③】 温帯の4つの気候区分から2つを選び、人々の生活との関係を考察
【GW④】 「問い」についてわかりやすく説明



4 リフレクション（この学習を通してどのような学びがあったか？）

◀びっしり埋められたSさんの振り返り（抜粋）
【授業に取り組んで思ったこと】→楽しかった！
違う教科でもつながりがあるのえもい！！

【振り返り】→まず最初に論理国語にて、数学と一緒に共通項を抜き出してくる！と聞いて、地理総合とコラボする前に数学とのつながりが見えた！と衝撃を受けた。（中略）今日の授業を思い出しながら、大事な共通部分を的確に抜き出し、まとめて抽象にするトレーニングを重ねていき、自然に完璧に分かりやすい文章を書けるようになりたい。

「しゃべる」	できた	できた	もっと	「質問する」「説明する」	できた	できた	もっと
「動く」	できた	できた	もっと	「Gで協力・Gに貢献」	できた	できた	もっと
学習目標が達成できたか？	できた	できた	もっと	あと少し	あと少し	もっと	もっと
学習内容がわかったこと	温帯は赤道付近、赤道から離れたところ、西岸、東岸、地中海といった至る所に見られるが、 <u>それ以外の場所にもよく見られる気候が違っていた。同じ温帯という特徴を持つところの中でも降水量や気温に差が生まれ、その影響によって生える植生や土壌も変わって、気候区分ができるんだなとか</u> わかった。最も気候のところで温帯に区分されていて、最もよいもの、植生によって決まるものがそれぞれであるから、温帯も4つに分けることができるのかなと思った。						
クロスカリキュラム（教科横断的）授業に取り組んで思ったこと	楽しかった！！違う教科でもつながりがあるのえもい！！他にもつながりがあるかもしれないと思うわくわくする！！他教科との共通点を見つけて一緒に持つて <u>暗記とかを効率的にできるかもしれない</u> と思った、それはとても画期的なのではないか？？と思った。						
振り返り 悩んだこと、身についたこと、気づいたこと、感想などを書こう	楽しかった！楽しかった！Type 23!						

A(特に優れている)	B(十分に達成している)	C(到達に努力を要する)
評価観点①「わかりやすく説明するための文章上の工夫を使い文章表現できる。」		
共通の要素をとらえて先に示すなど文章構成上の工夫を適切に行い、かつ適切	共通の要素をとらえて	論点整理

教科横断的な学びの意義を理解し、論理国語で身に付けた力を地理総合でしっかり発揮できたようですね◎